

# 伊勢・三河湾貧酸素情報 (R2-12号)

令和2年9月7日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和2年9月1、2日に伊勢湾、9月1、2、4日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

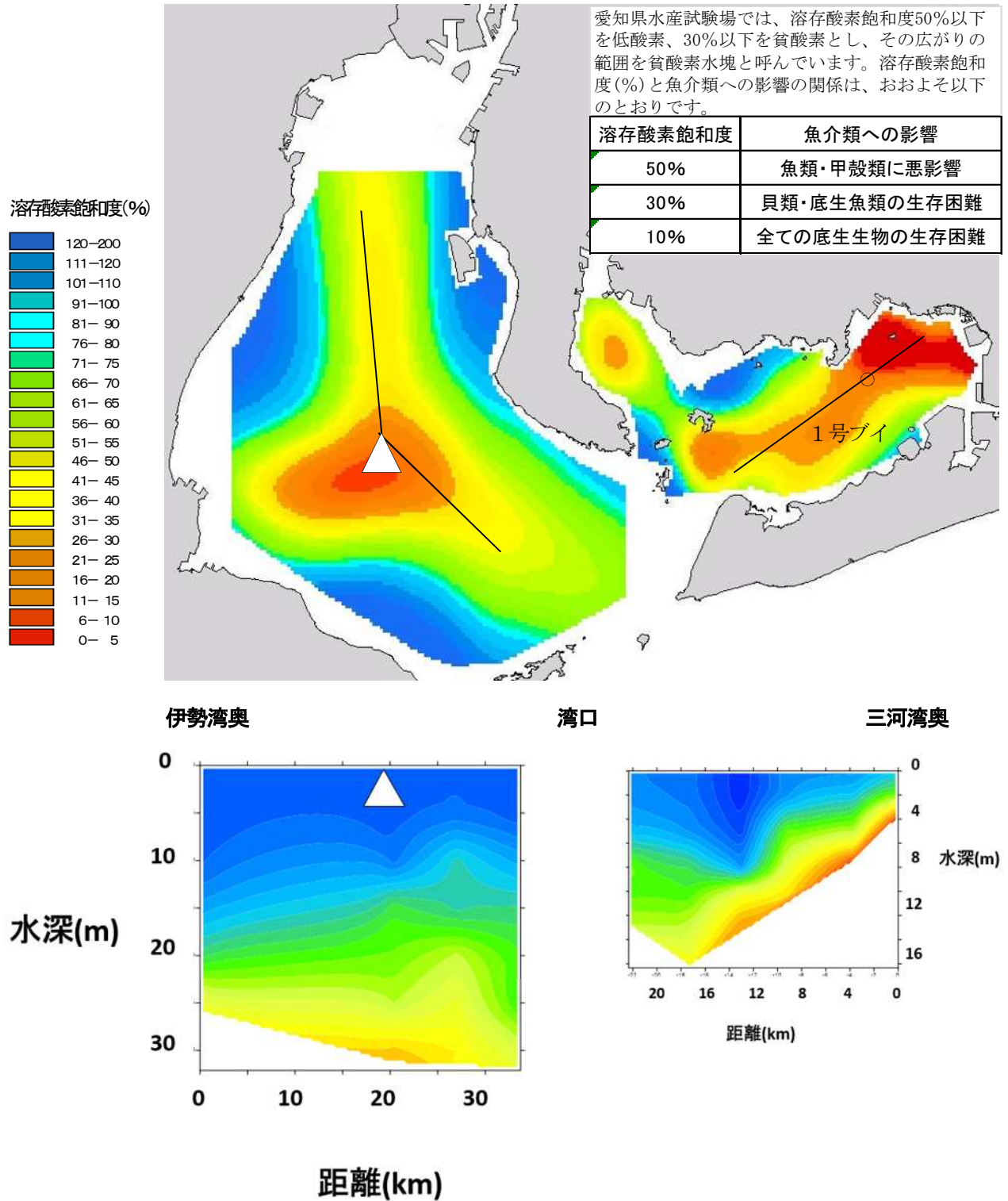


図1 伊勢湾（9月1、2日）、三河湾（9月1、2、4日）底層の溶存酸素飽和度の分布（上図）及び上図直線部分の鉛直分布（下図）（愛知県「海幸丸」「へいわ」調査）

## 伊勢湾

9月1、2日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾湾中央部に貧酸素水塊が確認され、規模は前回調査（8月24、27日）よりやや拡大していました。

引き続き表底層間での水温・塩分格差は大きく、表底層間での混合は起こりにくいと考えられることから、今後、貧酸素水塊の規模は拡大するものと思われます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	27.8~29.2	28.4~30.7
底層	18.1~23.6	32.3~34.3

## 三河湾

9月1、2、4日の調査結果を図1に示しました。湾奥を中心に渥美湾の広い範囲で貧酸素水塊が確認され、規模は前回調査と同程度でした。また知多湾では前回調査では貧酸素水塊は見られませんでした、今回は湾奥部に貧酸素水塊が確認されました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）では、台風9号の影響が出始めた9月1日以降、表中層の混合が起きており、貧酸素水塊の厚さも薄くなっていました（図2）。

今後は、気象条件にもよりますが、降雨や気温の影響により表底層間での水温・塩分格差が再び拡大し、貧酸素化が進行してゆくものと考えられます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	25.8~29.5	19.7~31.9
底層	21.0~27.9	30.4~33.0

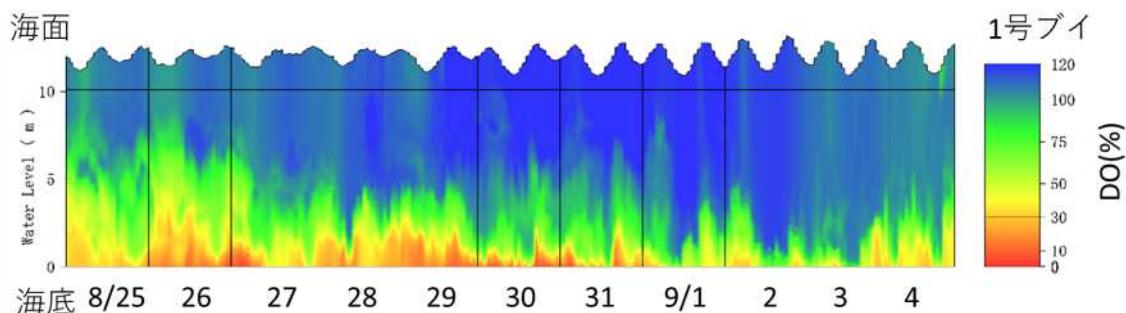


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

## 参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況（図3）

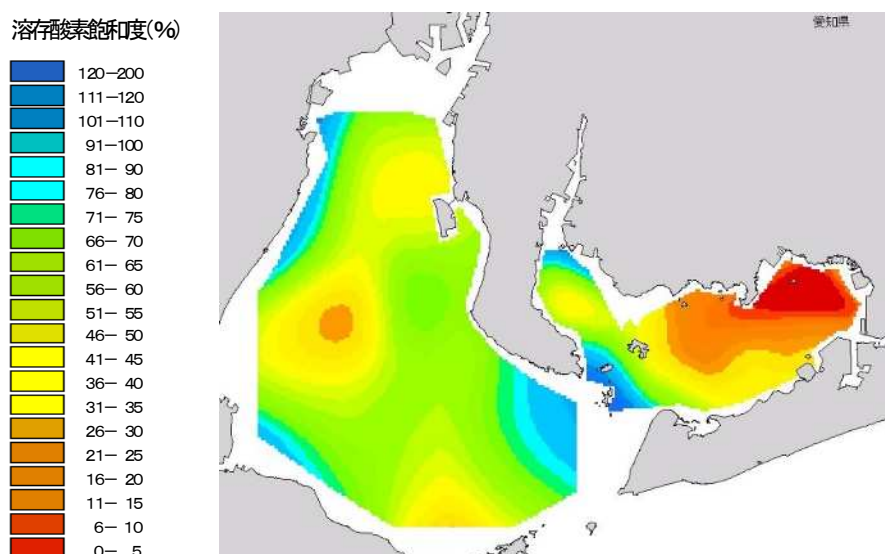


図3 令和2年8月24、27日（伊勢湾）、8月25日（三河湾）